

「エコライフDAY2004」報告会・発表会 環境フォーラム「私のエコライフ」報告書

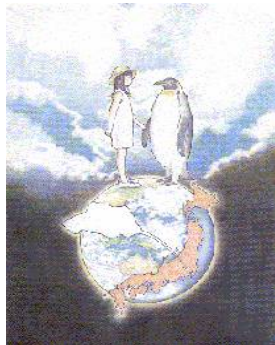
10月16日(土曜日)朝日環境センター・リサイクルプラザ3・4階において、「エコライフDAY」に参加して考えたこと、やってきたこと、続けていることなど、自分のエコライフを発表しました。また、環境にやさしい「私のエコライフ」を
実践している方々と交流しました。

参加者総数	延べ121人		
発表者	小学生29人	中学生5人	大学生1人
見学者	延べ86人		



全体風景 研修室にて

見たい！聞きたい！話したい人
この指と～まれ！



エコライフDAY・6月27日(日)



劇団ちよっぷ「環境戦隊エコレンジャー」

主催：川口市民環境会議 ホームページ <http://www.ne.jp/asahi/eco/ecolife>
 後援：川口市、川口市教育委員会
 協力団体：綾瀬川を愛する会、環境ネットワーク育成クラブ、グラウンドワーク川口
 劇団ちよっぷ、かわぐち環境通貨プロジェクト
 協賛：(有)アース電創、(株)イーアールシー、(有)いいづか印刷、イオン(株)ジャスコ
 川口店、池田鉄工(株)、オリジン自動車、川口珠算協会、虎穴庵、埼玉建興(株)、
 (株)サンビック、伸明建設(株)、立石建設(株)、(株)デイジイ、(株)トーエイ、
 徳竹塗装(株)、(株)日環サービス、(株)八廣園、(有)ふとんの北野屋、武南遊技業組
 合、山伸マテリアル(株)、(株)リカベル

この事業は、(財)サイサン環境保全基金助成事業の支援を受けて実施いたしました。





環境フォーラムの開会にて

ごあいさつ・「エコライフDAY」5周年報告 浅羽理恵代表

“1年に1日、環境の事を考えて生活をする日「エコライフDAY」”を始めてから、5年経ちました。はじめの年は「何人参加して下さるかしら？」とドキドキでしたが、そんな心配は無用だったようです。沢山のみなさんが環境の大切さを感じ、行動に移してくださいました。1割以上の方は、エコライフDAY参加をきっかけにして、毎日の生活の中でも続けている事がわかりました。感激です！今回、「報告会・環境フォーラム」を、多くの方々のご協力により実現する事ができ、本当に嬉しく思います。実施にあたりご支援・ご協力いただきました多くの皆様に、この場をお借りいたしまして、心より御礼申し上げます。

プ ロ グ ラ ム

第1部 「私のエコライフ」発表

- | | |
|------------|-------------------------|
| ・朝日西小学校6年 | 「私たちの取り組みと提案」 |
| ・木曽呂小学校5年 | 「見沼の蛍(4年生でやったこと)」 |
| ・西中学校3年 | 「私たちに出来るエコライフ」 |
| ・差間小学校4年 | 「家族人数分のごみ調べ」 |
| ・慈林小学校5年 | 「川の汚れについて」 |
| ・西中学校3年 | 「私たちに身近な環境問題」 |
| ・戸塚綾瀬小学校6年 | 「緑化リサイクルへの理科栽培委員会の取り組み」 |
| ・芝浦工業大学4年 | 「川口市民環境会議の活動を見ての感想」 |

アトラクション 環境紙芝居 「ようこそ森へ」 読み手：古澤房子
 環境ミュージカル 「環境戦隊*エコレンジャー」 劇団ちょっぷ

第2部 ワークショップ (7種類・1回のみ)

第3部 ワークショップの体験発表

ワークショップの体験発表とリーダーの感想
 みんなでしゃべり場
 環境フォーラムの感想とまとめ(環境フォーラム実行委員長牧野真知子)

§ 第1部 「私のエコライフ」発表 (敬称略)

・朝日西小学校 6年 「私たちの取り組みと提案」 11名 ~児童環境委員会の報告として~

1. 全校クリーン作戦

学期1回、学校内外のゴミ拾いをしています。6年生の芝川クリーン作戦では、植込みの中にたくさんのゴミや吸いがらがあったこと。ビデオデッキやカサ等、捨てるのに手間がかかる大きいものが捨てられていたという報告がありました。

2. エコライフDAYへの参加と提案

たくさんの家族が参加しているエコライフDAYですが、参加した後も気をつけてくれている家が多い事がわかりました。ただエコライフDAYに参加した後、キューポラという地域通貨をもらえるのですが、その使い道がせまいこと、どこで使えるかわからない等の理由で使っていない児童がたくさんいました。そこで朝日西小環境委員会は、キューポラをもらう機会とキューポラの使い道をふやしてほしいと提案しました。

3. 学校での紙や廃材の資源化

学校内、各所(教室も)に紙ゴミを貯める場所を設置しています。資源として生かしたり、裏を再利用したりしています。

4. 牛乳パックの資源化の試み

総合的な学習の時間で環境について調べたとき、毎日給食で飲む牛乳パックも家庭で使う牛乳パックと同様、再資源として回収したらどうかという事が6年生から出ました。そこで、6年生だけでも牛乳パック回収をはじめました。1日分がほぼトイレトーパー1個になります。洗う水はためて植木にやるなど工夫しています。今は、地域の資源物の日に出していますが、もっとたくさんの学校が始めたら、市や牛乳会社で回収してもらえるとと思います。



1クラスで、1日にできるミルクパック！



寸劇で、楽しい発表。

環境フォーラムに参加して 朝日西小学校教諭 川嶋栄子

私達の朝日西小は朝日環境センターから約百メートル。朝日西小の児童にとって、ゴミの問題は地域の身近な問題です。私達はゴミとして捨てられるものを何とか資源化できないかという視点で発表しましたが、他の自然保護の運動、温暖化を防ぐレポート等、参考になるものが多数あり、得る物の多いフォーラムでした。大人は環境問題が切羽詰まっている問題であること、生活を少しずつ変えていかなければ解決できないことを知っていますが、このような事は本来、子ども達に伝え、いずれは託さなければならない事です。ぜひ、子ども達に訴え、考えてもらえる会に成長して欲しいと思いました。

木曽呂小学校 5年「見沼の蛸(4年生でやったこと)」6名

- 内容：1 見沼田んぼの全体像(どこに畑や田んぼがあるの)
2 見沼の植物
3 昆虫
4 鳥
5 いなくなった生き物
6 見沼のほたる
7 こんな見沼になってほしい (4年生の総合学習での「アドベンチャーみぬま」の一部の紹介です。)



見沼で生活している生き物たちです。

環境フォーラムの感想 木曽呂小学校教諭 神山裕則

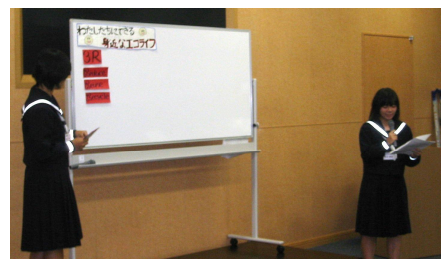
発表の内容は、4年生での総合学習で年間を通じて通った、見沼自然の家付近での子供の目で見た課題に沿っての報告でした。何よりこのフォーラムに出たことの収穫は子供達が、学習したことを外に向かって発信することができたことです。そして、いろんな学校の取り組みを見られたことです。中学生や大学生の発表など自分達の視点より深いものを聞き、良い刺激になったと思います。ありがとうございました。

・西中学校 3年「私たちに出来るエコライフ」 2名

青木 麻里子「わたしたちにできる身近なエコライフ」

内容：朝日リサイクルセンターに行ったり、ドイツと日本の現状を比較し、自分の生活にエコライフを取り入れてその成果について発表した。

感想：今回の環境フォーラムに参加して、私達が今までやってきたエコライフだけでは環境問題には対処できない事がわかりました。まだまだ私達にできる事があると思います。また、私は、自分の意見を発表するという形で、参加している方々に述べさせていただきとても良い経験をする事ができました。今回たくさんの方々の発表から得た事を普段の生活に取り入れて、多くの人にエコライフの大切さを伝えていきたいと思います。

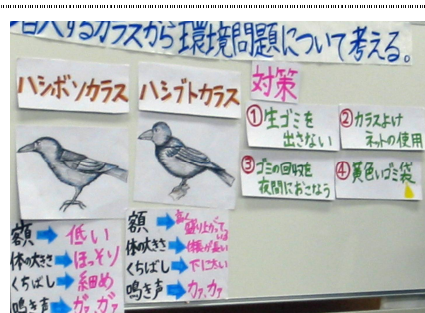


ドイツでしていることは、日本でもできる？

榎本 千香「増大するカラスから環境問題について考える」

内容：カラスが急増している原因がゴミであることをつきとめ、ゴミ問題は野生動物との共存につながると訴えた。

感想：発表をしてみんなに伝えるということは、とても難しいんだなあと発表をしてみて、実感しました。特に環境については、これからの時代、環境問題などさまざまな問題がでてくると思います。ここでどう発表し、伝えるかによって、聞いている人たちの興味のもちかたも違ってくると思います。今回は、カラスという身近なテーマから話題を広げていきました。



ゴミ置き場に集まるカラスたち。

聞いているみなさんが環境にもっと興味をもってくれるとうれしいと思いました。

・差間小学校 4年「家族人数分のごみ調べ」 2名

内容：家族の人数によってごみの量が違う事を調べました。

夏休みに一週間のゴミの量をプラスチック、紙、ペットボトル燃えるごみに分けて、おりがみで表にしました。

感想：いっぱい人が居るところで話すことは初めてだから緊張したけど、上手に発表できてよかった。楽しかったのでまた参加したいです。(凶斎はるか)

：練習の時はつかえたが本番ではスラスラ言えて練習の成果出て良かった。この日勉強になった。こういう機会があったら、また参加したいと思う。(小高萌)



一人1日にだすゴミの量はほぼ同じ。

・慈林小学校 5年「川の汚れについて」 2名

内容：綾瀬川のゴミ、植物、昆虫、川の生き物、綾瀬川にあるかんばん、川の水(流れなど)、植物は、白・赤ナガボノワレモコウ、ねむの木を描いてわかりやすくしました。これらをしらべての感想を発表しました。

感想：急に付け加えた言葉があっとうまく言えなかったところもあったけど、どうどうとはっきりと言えたと思いました。また、こういうきかいがあればやりたいです。(斉藤栄花)

：私は綾瀬川について調べました。他の小学校の発表を聞いてすごいなと思いました。(福島慧子)



ナガボノワレモコウの花。



・西中学校3年 「私たちに身近な環境問題」 2名

古市 知樹 「テーマ:酸性雨の現状と対策」

内容：日本の酸性雨の現状を調べ、さらにその対策方法を考え、家での実践報告を行った。

感想：僕は学校で環境について調べていたので、この環境フォーラムというのに興味をもち、参加させていただくことにしました。僕は発表者として参加したわけですが他の小学生や大学生の人達の発表を聞き、実際に学校をあげて環境問題に取り組んでいたり、良い発表がたくさんあったので、すごいと思ったり、環境に対する高い意識に驚きました。これからの生活の中で、「エコライフDAY」のような生活を僕もやっていかなければならない、と強く思いました。

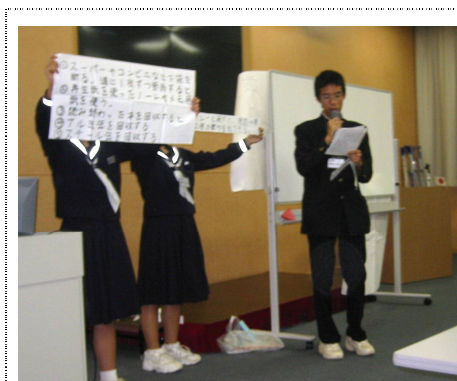


酸性雨について発表、pHは？

峰岸 亜門 「テーマ:ゴミとリサイクル」

内容：ゴミの種類と特徴を調べ、自分達にできるリサイクル方法を実践し、どのくらい減量したかを調査報告した。さらに、他の人にもごみ減量をよびかけた。

感想：僕は、朝日環境センターで行った、環境フォーラムに参加してリサイクルやエコライフに関する大切さを学びました。他の小学校の発表はすごく、前々からいろいろ調べてきたんだなということを感じました。僕もその中の発表に参加しましたが、他の学校や小学生などの前で発表した経験はありませんでした。ですが、前日に発表を行って、発表についての内容をつかむことができました。発表では、古市君や他の人に助けられたことがとっても印象的でした。



クイズで注目！

・戸塚綾瀬小学校 6年 「緑化リサイクルへの理科栽培委員会の取り組み」 5名

1、環境通貨「みどりのあやせ券」のとりくみ

5月 使われず、眠っているポリポットをクラスや各家庭から「あやせ券」で買い取って回収。

小さいポットは10点。大きいものは20点。

6月 昨年度、1・2年生が集めた落ち葉(スーパー袋10点で買い取り)でつくった堆肥を回収したポリポットに入れてコスモスの種をまいて苗を栽培。

7月 コスモスの苗販売。小さいポットは20点。大きいポットは50点。

2、コンポスターのとりくみ

コンポスターを9月に購入して設置。給食の残飯のうちデザートのパイや残りだけを理科栽培委員が回収してコンポスターに投入。分解酵素を入れて、上から土をかぶせ、それを繰り返して堆肥を作成。

3、校内テレビ放送の活用

毎月の委員会の取り組みをビデオ編集して、月一回、給食中に放送。子どもたちに緑化リサイクルの具体的な姿と成果を映像として伝えている。



「みどりのあやせ券」です。

環境フォーラムに参加して 戸塚綾瀬小学校教諭 菊次哲也

戸塚綾瀬小学校は綾瀬川を背にして、綾瀬の森など自然環境に恵まれています。総合の授業では、地元のボランティア「綾瀬川を愛する会」の方々をゲストティーチャーに迎えて綾瀬の自然について学習しています。こうしたなか理科栽培委員会では、昨年度から環境通貨「みどりのあやせ券」を使いながら、緑化リサイクルづくりを意識して栽培活動にとりこんでいます。活動が地味になりがちな委員会ですが、面白く、工夫しながら進めています。

とかく内向きになりがちな学校現場ですが、このフォーラムに参加して、多様な市民、教師、子どもたち、ボランティア、専門家の方々と交流できたことは素晴らしい経験でした。様々な人々が出会い、協力できる「広場」としての環境フォーラムが継続されることを願ってやみません。さらにこの川口の地で教師、市民を対象とした環境セミナーが開催できたら素晴らしいですね。

感想：他の学校の発表を聞いて、いろいろなことや自然の大切さがよくわかりました。見沼の自然やゴミのこと、カラスの害などの発表を聞きました。私は理科栽培委員会の取り組みについて発表して、とても緊張しました。でも、思ったよりうまくできました。これからもいろいろな活動をしていきたいと思いました。

(5年・米沢摩子)

：私は環境フォーラムのなかで中学生のカラスの害の発表には驚きました。他にも劇で発表する学校など、いろいろな工夫がありました。私たちはわかりやすいようにビデオを使って、ナレーションを工夫しました。私は大きな声でしゃべりました。

(5年・尾島汐海)

・芝浦工業大学 4年「川口市民環境会議の活動を見ての感想」 林田 祥子

まちづくりとは行政に任せきりにするものではなく、市民と行政が一緒に行なっていくのが理想だと言うこと、その過程で川口市民環境会議のような市民に参加を促す活動をするボランティアの活動は重要な存在であるということ、パワーポイントを使って発表しました。発表は、まちづくりについて詳しくない人や子供にもわかりやすいように心がけました。環境にやさしい活動とは、まちづくりにも役立つことが伝えられたと思います。とてもよい経験になりました。



パワーポイントでわかりやすい!

§ 第2部 ワークショップ

団体名	リーダー	内容
い) 川口市民環境会議	浅羽理恵	お買い物ゲーム
ろ) 川口市民環境会議	南雲芳広	家にある電気製品の待機電力を調べてみよう。
は) グラウンドワーク川口	小沢泰	自然もの作り プローチ・ペンダントなど
に) 綾瀬川を愛する会	幾島淑美	石けんと合成洗剤でかいわれ大根を育てると…。
ほ) 環境ネットワーク育成クラブ	中川千重子	地球温暖化の中、珊瑚礁の海で起こっていること
へ) 環境ネットワーク育成クラブ	古澤房子	環境ミニ(はがき大)紙芝居を作ろう。
と) 劇団ちょっぴ	斉藤るみ子	劇を体験してみよう、声を出し、歌ってみよう。

い) お買い物ゲーム。 浅羽理恵

いいお天気! さあ、ピクニックに出かけましょう。お弁当、飲み物、おやつ、あなたは どうしますか?
カップラーメン・マックのハンバーガー・コンビに弁当・手作りのおにぎり・
ペットボトル・水筒・小袋に入ったおせんべい、りんご、手作りクッキーなど…

食べた後にどれくらいごみができましたか?

「ひとりひとりが買い物をするとき、ゴミがなるべく出ないように考えれば、減らしていけますね。」

浅羽理恵

ろ) 家にある電気製品の待機電力を調べてみよう。 南雲芳広

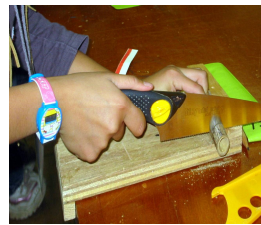
「いろいろな電気機器の待機電力って、こんなにあったんだー！
便利な電気製品だけど、コンセント差し込んであるだけで、こんなに無駄なエネルギーが消費されたってこと、現実の数字と、お金で表すって大事なことだなぁ・・・。と思いました。電気製品に囲まれて過ごしている私たち、どれひとつ欠いても生活できない状態、少し考え直したらどうですか？」 南雲芳広

写真2

待機電力という電気がある！

は) 自然、もの作り ブローチ・ペンダントなど。 小沢泰

「あっちでも、こっちでも、地球の至る所でキレテイル・・・国だ組織だ家庭だなどと問題の在りかを指摘してはいるが・・・つまるところ一人一人の人間の問題だ・・・ホンモノ人間ならば悪いことはしない・・・温暖化も防げる・・・自然というホンモノを相手にしているとホンモノが身につく・・・だから<自然ものづくり>・・・子らは黙々と木に取り組み・・・音が出た時の感動が心を揺さぶり、その瞬間にホンモノがインプットされる。」 小沢 泰



笛を作ります。



できるかな？ちょっとドキドキ。



参加者のみなさんに どんぐりのプレゼントをしていただきました。
子供たちは大喜びでした。 ありがとうございます。

に) 石けんと合成洗剤でかいわれ大根を育てると...。 幾島淑美

水とせっけんと合成洗剤で、貝割れ大根を育てた結果を観察した。又、環境センター横の芝川の水と秩父の荒川原水の水質調査をしてみた。酸素量と透明度を比較、綾瀬川や伝右川よりも芝川のほうが少し透明度が高かった。荒川の原水には及びもつかなかった。

感想：「綾瀬川を愛する会」のところへ行き、水質検査をしました。芝川の水は少し黄色くにごっていたけれど、検査をしてみたら見た目よりもきたなくはなかったです。環境フォーラムに参加して私はいろいろなことがわかりました。環境のことをもっと知り、環境に向き合っていかなければいけないと強く思いました。そして「みんなで協力していけば、早く環境は改善できるんだ」と思いました。(尾島汐海)

写真3

芝川の水は、きれい？

ほ) 地球温暖化の中、珊瑚礁の海で起こっていること 中川千重子

「サンゴの生態を説明したのですが、楽しんでもらえたようです。木曾呂小学校の先生が発言されていたように、「環境教育においては、美しい自然のすばらしさを身近に感じ、その自然が失われていくことに疑問を感じるような子に」、まず体験で、その後様々な思いが出てくるような実践をしていくとよいのだとわかりました。環境フォーラムは、本当に勉強になりました。子供たちの発表を聞くことができたのがよかったです。学んだことを真剣に考え、自分たちが取り組むべき方向性まで検討していて、出来ることから始めていることがわかりました。」 中川千重子

写真4

沖縄のサンゴを触ったよ！

へ) 環境ミニ (はがき大) 紙芝居を作ろう。 古澤房子

「今回、一般の方も出入りできる「図書コーナー」を使いましたので紙芝居を展示し、説明は、「テーマ・枚数発表をする」ことに絞り、画材、描き方は各自に任せました。作業手順は「お話を考える 枚数を決める 画材を選ぶ 描く 発表する」としました。思ったより参加者の年齢が近かったので落ち着いて取り組むことが出来ました。反省点は見やすさを配慮して発表するときの方法 (OHP利用など) を工夫すればよかった。」古澤房子

写真5

“わたしの紙芝居”が出来た!

と) 劇を体験してみよう、声を出し、歌ってみよう。 斉藤るみ子

「素晴らしい機会に「劇団ちょっぷ」を呼んでいただき有難うございました。子供達の反響もあって、嬉しかったで～す! 小さい子供達と楽しく劇づくりが出来てとても嬉しかったです。」

斉藤るみ子



みんなで劇づくり!



そろって発表。

§ 第3部 ワークショップの体験発表

ワークショップの体験とリーダーの感想を発表しました。
みんなでしゃべり場 (みんなで自由に話し合いました。)
ワークショップの「に」からの提案で紙芝居を上演しました。
綾瀬川の堤防にあった大きなムクロジの木が切られました。毎年そのムクロジの実を拾っていた植木屋の横山さんは、大変残念に思い、その切り株から“ひこばえ”がはえる可能性があるとして2月に移植しました。手当をして大切に育てられたので4月に初めて芽が出ました。それから虫からも守られて、6月には子供たちを越して大きく育ちました。その様子が書かれていた横山さんのホームページ「ムクロジ物語」を見た綾瀬小学校の6年生の鈴木さん親子が紙芝居を作りました。



ムクロジの紙芝居の上演。

朝日西小学校の発表の中でキューポラの使い道を増やしてほしいという提案がありましたが、それについて戸塚綾瀬小学校の菊次先生から、理科栽培委員会でも「みどりのあやせ券」とキューポラが交換できると活動が広がると思うという意見が出されました。

§ 展示発表

本町小学校

写真6

グラウンドワーク川口

写真7

< アンケートから >

[大人のアンケート] 回収数 16枚

アトラクション・環境ミュージカル「環境戦隊：エコレンジャー」について

・どのような環境ミュージカルが見たいですか？

- * エコレンジャーの続き。 * 資源のことを楽しくわかりやすく。
- * 子供達に訴える力は大きかったと思う。 * 次回も楽しみです。
- * 知っている曲が沢山入っていると嬉しいです。

・今回の感想など。

- * 面白かったです。 * 大変楽しかったです。
- * 内容も時間もちょうど良かった。 * 会場全体で盛り上がった。
- * 環境に悪いことをしていることの解決が出来ることと幸せになる。

今回の環境フォーラムの感想、ご意見など。

- * 地球環境に優しくなりたいと思いました。 * 楽しかった。
- * いろんな形で環境を考える機会になりました。 * 参加させていただいてありがとうございます。
- * とてもよい機会(催し)だと思います。毎年フォーラムを開催していったら素晴らしいと思います。
- * 環境について、小学生から大学生や大人までが話し合うのはとてもよいことだと思います。ぜひ、毎年続けていただきたいと思います。
- * 人間は地球環境に大きな負担をかけてきたが、児童生徒が環境の問題と向き合っている姿は、一人一人が1日に使うエネルギーがわかったり、みんなで協力して取り組む必要を感じ取れたと思うし、私自身も参加してよかったと思いました。
- * とてもよかったです。私が小学生だったころより、子供達や先生達の意識が高いと思いました。丸1日だったので、子供達は集中力が続かなかったかも。
- * 今後もぜひ続けてたくさんの学校の子供達の発表の場になってほしいと思いました。
- * 午後からの参加だったので、次回は最初から参加してみようかな？と思いました。
- * 小学生は長時間受け身で聞くのは難しいようです。中学生の発表の中で、クイズがあったときは喜んで参加していました。発表を聞いたり、ほかの場所で展示を見たりできると、選んで参加できるのではないのでしょうか。
- * 自治体や私達(市民団体)が環境に力を入れていても良くならない。ドイツのように政府レベルの取り組みが必要と中学生の弁、子供でも気づくのに！地域と学校、素晴らしい大人がいて子供たちが育まれることを実感しました。興味深い内容でした。

これから市民環境会議に望むことは

- * これからも期待しています。 * これからも頑張ってください。
- * 教師達にもっとアピール、広げてください。 * もっと宣伝を！
- * これからも仲良くしていただけたらと思います。これをご縁にこれからもよろしく願いいたします。

[子供のアンケート] 回収数 27枚

楽しかったところ

- * エコレンジャーがうけた。 * アトラクションの劇がおもしろかった。
- * 木で笛を作ったところ。 * 笛作りが楽しかった。
- * サンゴに触って楽しかった。 * サンゴに触ったり教えてもらったりしたこと。
- * サンゴのいろんなことがよく分かった。 * 紙芝居を作るのが楽しかった。
- * 環境の話。 * 発表したこと。
- * いろいろなものを知った。
- * いろいろ作ったりしたのが楽しかったです。エコレンジャーがおもしろかった。
- * 「綾瀬川を愛する会」の人の話が聞けたこと。鈴木さんの紙芝居も良かったです。

友達の発表を聞いて思ったこと。

- * 自然の大切さをあらためて感じました。
- * ゴミはなるべくリサイクルしたい。
- * 自分からゴミを拾うと思いました。
- * 友達の発表を聞いて、知らないことを知った。
- * すごくわかりやすくよかった。これからもゴミを減らそうと思った。
- * みんな、すごく調べているんな人に知らせたいんだなと思いました。
- * 環境は大切だな。
- * ゴミの処理とかに熱心に取り組んでいる。
- * 家に帰って、節約をしたい。
- * いいことを言っていてすごい。



また発表したいですか？（発表者回答21名から）

<p><u>はい・12名</u></p> <ul style="list-style-type: none">* がんばって気持ちを伝えたいから。* 発表することで、みんなに自分の考えを伝えられるからです。* 学校でもこのように発表できるから。* 発表がスキだから。* 実力がつくから。* もっと知りたい。* 環境について知りたいから。* あまり発表する機会がないから。* みんなの発表をきけて、勉強になるから。* いろいろな意見が聞ける。* 楽しかった。	<p><u>いいえ・5名</u></p> <ul style="list-style-type: none">* 苦手だから* めんどくさい* つまらないから* 緊張した。* なんとなく。
	<p><u>中間・3名</u></p> <ul style="list-style-type: none">* どちらでもいいから。* どちらでもいいから。* わからない。

次回も参加したいですか？（全体回答27名から）

<p><u>はい・18名</u></p> <ul style="list-style-type: none">* また環境について知りたい。* もっと知りたい。* いろいろな体験ができたから。* みんなとても詳しく調べていた。また聞きたいからです。* すごく楽しかったから、もう1回行きたいと思った。* こんなにごみのことを調べられるなんてうれしい。* みんなの取り組みが聞きたいから。* 発言するのが楽しかったから。* たのしいので、また参加したいと思ったから。* 知っている先生に会えたから。* 今度は違うの(ワークショップ)をやりたいから。* たのしかったから。* 今回楽しかった。* いろいろわかるから。	<p><u>いいえ・4名</u></p> <ul style="list-style-type: none">* 緊張するから (2)* 他の人にもきてほしい。* 予定も詰めたくない。
	<p><u>中間・2名</u></p> <ul style="list-style-type: none">* 行けるかどうかわからない。* どちらでもいいから。

今後、どのようなことがあると良いと思いますか？

- * ワークショップが2つ体験できるようになるといいです。
- * 人をもっと集めているんな会をしたい。
- * 環境の中で大変で苦労したときの体験談。
- * みんなで紙芝居を作って発表する(そのテーマについて)
- * 今日みたいなことがあったら、水や電気の簡単な節約法。
- * 環境にやさしいものを試食する会があるといい。
- * アトラクション
- * 劇があるといい。
- * 何かの実験。
- * たのしいことがあるといい。
- * 自分の家で簡単にできる節約法。

編集後記

いつかどこかで見たこの風景を実現したいと思っていました。幸いにも、エコライフDAYの5周年を期し発表交流会の場として「環境フォーラム」が実現できましたことを感謝いたします。

エコライフDAYと同じく市内全域の学校にチラシ、ポスターを配りましたが、お忙しいところを優しく対応してくださった諸先生方に感謝いたします。また、初めての開催に、参加し、発表、展示参加の御協力を頂いた学校や引率された先生方、初めから最後までお世話になりました市役所の職員の皆様、ワークショップのリーダーさん、会員・実行委員の方々、たった一人のつぶやきを121人につなげて下さいましたことを深く感謝いたします。本当にありがとうございました。

環境フォーラム実行委員長 牧野真知子

080-1209-1280